

青山学院女短大	磯谷	藤枝
都立三田高	○高部	和子
東京家政学院大	原田	隆子
新潟大教育	清水	薫

1. 私共は被服構成学の立場から、成人男女の体型を把握することを目的として、身体計測による基礎調査を行なった。その結果を集計整理し、男女の体型の特徴について考察を試みた。

2. 資料は1967年7～9月に計測した18～29歳の成人で、男子289名、女子221名、合計510名の計測結果の一部である。研究項目は身長・背丈・下肢長・袖丈・足長の長径5項目と頭囲・頸付根囲・胸囲・胴囲・腰囲の周径5項目に幅径項目の背肩幅を加えた絶対値11項目と示数値10項目（背丈/身長・下肢長/身長・袖丈/身長・足長/身長・胸囲/身長・背肩幅/胸囲・頭囲/胸囲・頸付根囲/胸囲・胴囲/胸囲・腰囲/胸囲）である。

3. 主な成果はつぎのようである。

絶対値について

腰囲をのぞく各項目とも男子が優位である。特に優れている項目は、身長・背丈・頸付根囲・足長・胸囲・背肩幅である。

示数値について

男子が特に優れている項目は、背丈/身長・胸囲/胸囲・頸付根囲/胸囲・背肩幅/胸囲の4項目で、やや男子が優位な項目は、下肢長/身長・足長/身長である。

女子が特に優位な項目は腰囲/胸囲であって、胸囲/身長・頭囲/胸囲はやや男子より優れている。